

北陸の太陽光発電取得

三井住友F.L 新たな収益源に

三井住友ファイナンスは、石川・福井・富山・岐阜の4県に、太陽光発電所を開拓を進め、新たな収益源とする。ゴルフ場跡地を再開発して建設された発電所。降雪などで冬場の日照量が少ない一方、土地代が安く大型の発電所を建設できる。年間発電量は一般家庭の約2万3千世帯分に当たる7710万キロワット。北陸の太陽光発電では最大規模だ。発電所の保守管理はファースト・ソーラーに委託する。事業に次ぐ第3の柱に育てる方針だ。

と現在からほぼ倍増させ、新たな収益源とする。今回買い取ったのは、石川県と富山県にまたが